

質問書への回答

真庭市観光戦略改訂支援業務の提案依頼事項について、次の質問項目について回答いたします。（質問順）

質 問 項 目	要 旨	回 答
仕様書 第 2 章 特記仕様書 3 ワークショップ・研修会の開催における和歌山大学生参加人数	ワークショップ・研修会に参画する和歌山大学の学生のご参加人数の想定がありましたらご教示ください。	ワークショップ・研修会の各回、3～5名程度を想定しています。
和歌山大学観光学部の参画に関する役割の明確化	教授および学生の役割分担と、そのアサインの責任主体（市 or 受託者）をご教示ください。	教授および学生の役割分担については、発注者（真庭市）と受託者を含め、協議の上決定します。 なお、アサインの責任主体は発注者である真庭市となります。
ワークショップの想定規模と対象者	ワークショップ・研修会の参加人数、対象（観光関係者・市民・行政等）、開催地（市内全域 or 拠点）について、想定をお知らせください。	ワークショップ・研修会の参加人数は10～15名程度を想定しています。対象は（一社）真庭観光局のスタッフ、観光地域づくりマネージャー、行政等のほか、受託者含め、関係者で協議の上決定します。 なお、開催地は真庭市内の公共施設等拠点での開催を想定していますが、各回会場を変更することもございます。

質 問 項 目	要 旨	回 答
ヒアリング対象数と調整支援	ヒアリング対象となる観光関係事業者の数、業種の範囲、及びアポイント調整等の支援有無をご教示ください。	ヒアリング対象となる観光関係事業者等の数については、課題の抽出等を目的に行うために必要と見込まれる件数、業種範囲を検討の上企画提案してください。 なお、アポイント調整については、発注者と受注者で協議の上検討します。
見積書に含める講師旅費の水準	和歌山大学関係者の旅費・謝金について、過去実績または市が定める単価基準があれば、参考までに共有可能でしょうか。	和歌山大学関係者の旅費については、和歌山大学旅費規程をベースとしつつ、和歌山市から真庭市までの実費相当額を想定しています。また、謝金については、真庭市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の別表第 1 に定める真庭市政策アドバイザー報償費相当を想定しています。なお、学生の謝金については、和歌山大学と協議の上決定する予定です。
真庭観光局および観光地域づくりマネージャーとの連携体制	真庭観光局やマネージャーとの関係構築・調整について、市が間に入る形式か、直接連携することを想定しているか、どちらかご教示ください。	発注者（真庭市）が間に入り、（一社）真庭観光局と調整の上進めていくことを想定しています。
観光地域づくりマネージャーの現状	観光地域づくりマネージャーの現役メンバーのプロフィール等が記載されている資料があれば、共有可能でしょうか。	真庭観光 WEB に掲載している「真庭の人びと 2022」をご参照ください。※発行後、年数が経過しており最新情報ではありませんが、参考にして下さい。 https://www.maniwa.or.jp/web/?c=news-2&pk=398